

## 私と日本をいやす機会（使徒1:1、3、8）

### 序論

▶ありがとうございます。

すべての聖書は神様のみことばですが、使徒1:1、3、8が結論です。日本には多くの事がらがありますが、すばらしいことがたくさんあります。しかし、この部分（使徒1:1、3、8）がありません。だから、多くの病人が生じています。偶像崇拜がどれほど恐ろしい者であるかもわからずにいます。そこで、実際的に多くの精神疾患患者たちがたくさん起きている状況です。だから、私と日本をいやす機会だと思います。これを持っていただきたいと思います。これは日本だけではなく、先進国はほとんどそうだと思います。

▶序論 - 精神病の時代

一言で言えばすべて精神病の時代だと言っても過言ではありません。

1) 病気

▶いま現在、実際的な病気というのものがたくさん発生しています。

2) 心

▶心の病を抱えている方もたくさんいらっしゃいますし、心に傷を受けている方がたくさんいらっしゃいます。

3) 精神

▶そのため精神的な病もたくさん起きている。うつ病、躁うつ病、パニック障害などがとてもたくさん起きています。いろいろなものに中毒になったりします。

4) 無能

▶もっと恐ろしいのは、病気の中でいちばん恐ろしい病気は無能だということです。このような病気は、ただ福音でいやすことができるので、神様は皆さんを召されたと思います。

(1) 始まり（創世記3章、6章、11章）

▶それでは、この病気以上に恐ろしいのは、この始まりはどこかということ。これを分かってこそいやすことができます。どこから始まったのでしょうか。創世記3章、6章、11章から始まったのです。創世記3章の事件はお分りだと思います。神を信じることができないようにして、みことばを聞くこともできない状態です。そして、あなたが神のようになるということです。これはとても良い話のように聞こえますが、恐ろしい病気を発生させてしまいます。そして、創世記3章以降、ネフィリムの事件が起きます。サタンに完全に捕らわれてしまいます。成功しようとするがバベルの塔のように崩れてしまいます。

(2) 過程（使徒13章、16章、19章）

▶では、これらはどのような過程を通じて起きているのでしょうか。使徒13章、16章、19章の偶像という形で始まっていきます。皆さんがすでに分かっている部分です。

(3) 結果（6つの未信者状態）

▶では、どのような結果をもたらせたのでしょうか。だれも知らない、だれも治すことのできない病気へと固まっていくのです。むしろ、最初から癌であれば治すことができますが、6つの状態で起きますので到底治すことができません。

▶この部分を治せるのは、ただキリスト、神の国、聖霊です。これを契約として握っていただきたいと思います。日本にいらっしゃる牧師や宣教師は、日本でいよしの働きをしなければ宣教は失敗します。なぜなら、世界のどの国よりもすばらしいことが日本には集中しています。ですから、どんなに良いものを日本に持っていても、日本の助けになりません。私が行った中では一番発展した国が日本です。世界のほとんどの国を回りましたが、日本はそういう国だと思います。不便なことがほとんどない国が日本です。一つ一つを見ても、例えばホテルに行ってもすごく発展している国です。ということは、どんなものを日本に持って行っても、日本のためにはならないということです。日本はたった一つ、霊的な病におかれているということです。それをいやす答えを皆さんが持って行かなければなりません。皆さんにその力があれば、伝道は簡単にできていくと思います。そこで、今回の集会は、必ずこの答えを見つけていただきたいと思います。

▶それで、私はその証拠を見せるために、2つのいよしのチームを起こしています。でも、チームをわざわざ作る必要もありません。皆さんが3つのことをやれば良いと思います。

### ①深い祈り

▶今日から、ただキリスト、神の国、聖霊を味わう深い祈りをしていただきたいと思います。今日から始めてください。キリスト、神の国、ただ聖霊を味わう深い祈り、10分やっても御働きの始まりです。どの程度が深い祈りと言えるのでしょうか。どんな事柄をも私には何も問題にならないという程度の深い祈りの中に入れてよいと思います。ヨセフは奴隷になっても大丈夫、牢に入っても大丈夫、そして、総理になっても大丈夫、なにも関係ありませんでした。福音を味わう深い祈りの奥義を持っていたのです。これを教えてあげればよいと思います。これをただ皆さんが曖昧に聞いてはいけません。

### ②深い呼吸

▶次は、深い呼吸です。3つのことを深くやってください。

### ③深い食事

▶深い食事です。

皆さん、この3つは病気をいやす大きな答えになります。日本に来てみると食べ物がいいと思います。驚くほどよいです。例えば、対馬などに行ってみても、売っている食べ物がとても良いです。日本では、食材がとても新鮮ですばらしいと思います。でも、料理があまり良くないと思うときもあります。すごくしょっぱいとか、またはすごく甘いとかなのです。食材は良いのに、それがしょっぱかったり甘かったり、そのように料理をしてしまっているということです。すごく先進国なのに、どうして料理はこうなのだろうと思うときもあります。これでは糖尿病になってしまったりします。そのように食べれば、虫歯がたくさんできてしまったりします。日本はとても発展している国なのに、体にあまり良くない料理の仕方になっているのではないかと思ったりします。ですから、皆さんがこの3つことだけすれば、どんな病気もいやすことができます。簡単に言えば、病気があまりにも長い間、体内にあるので、脳に向かって問題がきたのが精神病です。この3つの内容を契約としてもってやっていけば、だれもがいやされるようになると思います。深い呼吸を説明するには非常に時間がかかるかもしれません。契約の福音を握って深く祈りながらゆっくりと呼吸をすれば、体がすごくいやされていくと思います。祈りもその呼吸とともに深く入れると思います。医者は病気を治す人です。でも、この呼吸のやり方というのは、治すのではなくいやすということです。一つの部分を治すのではなく、体全体を生かすということです。もしも癌になったことがある、また、癌の心配があるという方は、24時、この深い内容3つをやってください。そうするともっと健康になります。例えばレムナントが、この3つのことをやることになると、他の人の100倍以上の優れた力を発揮できるようになります。これを皆さんに説明しやすくするために分かりやすく書いていただけであって、すべてのレムナント7人がこの内容をやっていました。

### ▶With、インマヌエル、Oneness

これらを指して、神は私とともにおられる、With と言っています。行く所々で神が私たちとともにおられる、インマヌエルです。神がすべてのことにおいて私とともにおられる、Oneness です。これは合わせる協力ではなく Oneness です。名古屋の集会に来て、この3つだけを発見していくならば、皆さんの人生が変わっていくと思います。

▶食事の部分は、私が最近やっている方法ですが、この祈りと呼吸の2つは30年やりました。30年前から深い呼吸しながら祈りました。それで他は何も問題になりません。ただキリスト、神の国、聖霊です。これを最初の時間、握っていただきたいと思います。最初は10分程度でよいと思います。それでも大丈夫です。日本は非常に空気もいいので、一日に10分間だけ始めてもよいです。私はあまり体が良くないという方は、1時間程度やってみてください。私はあまりにもうつ病などで精神的に苦しいという方は、1時間ぐらいやってみてください。1時間ほど深い祈りの中に入ってください。深い祈りと深い呼吸を合わせて深い祈りの中に入っていくということです。ある日、皆さんに24時という答えが来ます。24時というのは、どの場所でもどこに行っても祈りができる状態です。そうすると皆さんが行くすべてのところに、キリストの御働きの起きます。熱心にしなくても大丈夫です。神の国が臨むようになります。いままで日本では一生懸命というように学びました。しかし、聖書は、神の国が来ることを待ちなさいと言っています。それでこそ日本を生かすことができます。日本を本当に生かしていかなければなりません。

本論 - 本論に入ります。

### 1.私を生かせば、教会福音化が起こる。

▶私を生かすと、すべてを生かすことができるのですが、その中で特に教会を生かすことができます。

そうです。私を生かすと教会の福音化がなっていくということです。私を生かすためには鍵が3つあります。

#### 1) 刻印 (使徒 1 : 1)

▶その一つ目です。私の刻印を変えていくことです。

#### 2) 根 (使徒 1 : 3)

▶刻印が変わることによって根付いていくことが変わっていきます。

#### 3) 体質 (使徒 1 : 8)

▶そして、次は何でしょうか。体質が変わります。肉的にも刻印、根、体質が変わると病気も良くなります。

▶なにによって刻印をさせるのでしょうか。キリストによって刻印させていきます。なにによって根づくのでしょうか。神の国によって根を下ろします。どんな体質なのでしょうか。ただ聖霊という体質です。そうすると皆さんがどこに行こうと、「ただ」がなにかを見つかるようになります。東京大学を卒業しても、「ただ」という奥義がなければ成功できません。勉強が全くできなかったとしても、「ただ」の奥義を発見すれば勝利します。皆さんが行くところに神の国が臨まれるならば、その時からそこに唯一性が生まれます。聖霊の御働きこそが再創造の働きを生み出していきます。これが日本に必要です。この契約を握るために、神様は皆さんを召されたと思います。皆さん一人が生かされることによって、行かれるすべてのところと教会が福音化されます。

### 2.教会を生かせば、日本福音化が起こる。

▶そして、教会が生かされると、日本福音化はなっています。そうです。教会を生かすと、日本福音化がなっています。

#### 1) 始まり (使徒 2 : 1-47)

▶教会を生かす始まりは何でしょうか。この時から、皆さんに使徒 2 : 1-47 の答えが現れます。マルコの屋上の間の答えです。こうなれば終わりです。教会がこのようになると、日本福音化がなっていきます。他のことは大体で結構です。時間管理がよくできるということは、時間にぴったり合わせて行うということもよいのですが、そういう意味ではありません。時間管理をよくするということは、適当でいいことは適当に、重要なことは重要にやる、それが管理だと思います。教会の中でどんなに重要なことが多くても、使徒の働き 2 章が始まらなければ始まりではありません。

#### 2) 更新 (使徒 11 : 19-30)

▶教会が生かされるとどうなっていくのでしょうか。更新するようにならなければなりません。その更新とは何でしょうか。アンテオケ教会です。私たちの始まりはマルコの屋上の間の教会です。どんな更新をすべきでしょうか。アンテオケ教会のようにです。

#### 3) 転換点 (使徒 16 : 6-10)

▶そして、私たちの人生のターニングポイントとなる教会の祝福の時が来ると思います。使徒 16 : 6-10 です。マケドニヤへ、ローマへ、このような転換点を神様が与えられるでしょう。

▶こうして教会を生かせば、日本福音化がなっています。

### 3.日本を生かせば、世界福音化がなされる。

▶日本を生かすと、世界福音化になっていきます。私が思うに、世界福音化のための大きな影響力のある国が日本だと思います。それを知っているサタンは、日本に福音が入ることを非常に妨げます。だから、皆さんが契約を握るとき御働きが起きていきます。

#### 1) 偶像国家

▶では、聖書をよく見ていただきたいと思います。日本をどのように生かせるのでしょうか。日本は偶像国家です。偶像というものが完全文化になった国です。だから、霊的問題は来るしかありません。

#### 2) 福音運動

▶そこで、皆さんが戦わずに生かす力をもってする運動こそが福音運動です。皆さん、福音運動が起きれば世界を生かすようになります。

#### 3) 先進国

▶もっと重要なことは何でしょうか。日本が生かされると、先進国を生かすことができます。日本は先進国です。日本に福音が入れば先進国が生かされます。

▶なので嘘をついてはいけません。先進国は非常に危険な状態です。先進国ですから、それこそ超スピードで成長し続けています。実は、アメリカ、ヨーロッパに行った時も精神疾患者がいっぱいでした。

しかし、その理由を彼らは分かっていません。そこで皆さんが生かされると日本を生かし、日本が生かされれば先進国を生かせるようになります。日本がどれだけ先進国かと言いますと、いま日本は世界中すべてにビザなしで行けます。しかし、後進国から来るとビザを渡しません。後進国がアメリカに入ろうとするとビザをくれないのです。でも、日本はそれこそ世界のどの国でも行くことができるような国なのです。だから、本当に祈らなければなりません。日本が福音化されれば、世界福音化は非常に早く縮まっていきます。日本が福音化されれば、世界福音化が最も簡単になっていきます。日本が福音化されれば、全世界の靈的問題が消えていくと思います。

## 結論 - CVDIP

▶そんな中で神様が皆さんを召されました。では、いかがでしょうか。私たちはひょっとして間違っただけのことを考えるかもしれません。私たちはたくさん起き上がって、熱心になにかをやりたいと考えています。それは違います。聖書をご覧ください。それが結論だからです。

### 1) 創世記 3:15、信仰の族長たち

▶創世記 3:15 の契約を握った信仰の族長たちです。幾人かしかいませんでした。創世記 3:15 の契約を握ったヨセフ一人が、全エジプトを生かしたのです。そして、行ってエジプトをいやしました。一人がそうしたのです。

▶これを知って信じなければなりません。福音を悟った皆さん一人が日本全地域を生かすことができるということです。計算するとなかなか信じられないかもしれません。これは靈的な世界であるため、計算は必要ありません。皆さん一人が答えを受けたのに日本を生かし、世界を生かします。これは本当に契約として握っていかねばなりません。どのようにでしょうか。突然、事故に遭いました。どうしたことでしょうか。奴隷になってしまったのです。しかし、ヨセフはこの契約を知っていたのです。父から、祖父からあった契約を持っていたのです。つまり、契約の中で揺れなければ御働きは起きるといふことです。ヨセフは全く揺れませんでした。皆さんの前に問題が来たとき、揺れずにこの契約を握ってください。奴隷の身になるということは、どれほど大変なことなのでしょうか。しかし、それはエジプトに行ける道であるということを知っていたのです。これが重要です。皆さんに起きた問題は、祝福への道だということです。もしかして病気になっていますか。それはいやしの証人への道です。そうです。本当に落胆せずに祈ってください。

▶では、立場を変えて話したいと思います。突然兄たちがヨセフを殺そうとしてヨセフを売ってしまいました。昔は人身売買があったので、そのように奴隷として弟を売ってしまったのです。本当にあきれられる話ではありませんか。皆さん、いかがでしょうか。皆さんならばショックで倒れたかもしれません。倒れるだけでは済まない話だと思います。でも、だまされてはいけません。それがまさにビジョンとしてドリームとして握ったエジプトへの道なのです。私はヨセフがその道のりを生きながら、すごく驚いたと思います。なぜなら奴隷というのは、どこに売られるのか行き先が分かりません。そうでしょう。奴隷はどこに売られるのか、どの家に行くのか全く分からない身分なのです。ヨセフは自分が握った契約 5 つ、その通りの道のりを進みました。後に告白します。兄たちが私を売ったわけではありません。売ったのに売ったわけではないと言いました。神様が私を先に遣わしました。汚名をかけられて、牢に入れられるということは死ぬほど苦しいことです。しかし、ヨセフは知っていました。なにをですか。ポティファルの家から出るタイミングだと分かったのです。ポティファルの家を離れてこそ成し遂げられるからです。ポティファルの家では自分がもっていた契約を成し遂げることができないからです。驚くべきことです。ほとんどはこれによって成し遂げられます。それは **Covenant** です。神から与えられたビジョンです。私が持っている夢、ここから出てきたということです。神のみことばが成就されていく過程、神が作った人生の作品、明日の最後の時間では、私と日本を生かすための契約の旅程について確認したいと思います。皆さんは揺れる必要がまったくありません。ですから、今日いらぬものをすべて捨ててください。私の家は どうして そうなのだろうということを捨ててください。それこそ日本を生かす契約の旅程です。

▶教会はどうして そうなのだろう。以前も申し上げたように、6カ所で副教役者を行い、7番目の教会がいまの釜山の教会です。

①私が最初にいた教会は とても無能な教会でした。だから、私はそこで力を発見しました。どんなに良いチャンスでしょうか。それを見て発見したのです。

②2番目の教会に行ったら、とても人間主義に走るところでした。牧師、長老が一緒になって人間主義を使いました。私がその時悟りました。神本主義。私は神様中心でやっつけよう。

③そして、もう一箇所は、牧師先生が勝手にコントロールするところでした。信徒たちは本当にあきれ

そうになりました。その時悟りました。私が牧師になるのなら、私の自己主張をしないようにしようと思いました。神の御働き通りに進もうと思いました。

④次の教会に行ったところ、③の反対でした。長老が自由勝手にやってしまう教会でした。私はそれを見てまた祈りました。私は一生涯生きる限り、たった一人をも苦しめることはしないということ。

⑤次に行った教会は、本格的に喧嘩をする教会でした。教会はそうやって試みにあってはいけないのですが、その時も学びました。その時、私が祈ったことです。私はすべての人を許す牧師になろうと。許せないからそういうことになるからです。

⑥そして、最終的に私が招かれたところがヨンドのインマヌエル教会でした。そうです。それこそハレルヤだと思います。最初に行ってみたら、いろいろな信徒たちの言葉数の多い教会でした。小さな教会は疎通が早すぎるのでうるさい教会が多いのです。大きな教会は疎通するのに広いから大変なのですが、狭いからすぐに疎通してしまうのです。その時悟りました。私は無言で神の証拠を見せよう。そして、その時悟ったのが、すべてを受け入れて超越しよう。ただただ神の御働きを見せよう。そのヨンドという小さなところで証拠が現れました。神の証拠です。しかし、お証しすることはありません。なぜなら自分でしたとは思えないからです。ただ契約だけを握ったのに主がなさったのです。日本を生かすまことの証人が出てくることを願います。簡単です。皆さん、一人、二人だけで結構です。ヨセフは一人でやりました。そこでだまされると遅くなります。

## 2) 出エジプト 3:18

▶では、聖書を細かく見ていきたいと思います。血のいけにえをささげに行きなさい。これを悟って契約を握った人が約 7 名いました。モーセ、モーセの二人の弟子（ヨシュア、カレブ）、モーセを助けたイテロ長老、そして、ラハブ、兄だったアロンです。このような幾人かしかいませんでした。この契約をもってエジプトと世界を生かす変化が起きたのです。それを本当に信じていただきたいと思います。数字が少なければ、神は強く働きます。

▶皆さんに力がなければ、神は力の御手をもって働きます。契約を握っていればです。皆さんがもしも欠けている者であるならば、神は正確なみことばを与えてくださるはずですが、皆さんがもうまもなく死ぬといったら、神は速やかに働いてくださいます。もう死ぬ時が間近だからです。正確に見るべきです。信じていただきたいと思います。教会に行って無駄な言葉を話したり聞いたりもしないでください。だれかが何と言ってもすべてをアーメン、OK、ありがとうございます。おかしい人はおかしいことばかり言うのです。それもアーメン、OK です。どうしてか分かりますか。福音以外はすべて違うからです。違う言葉のボリュームが大きいとしても、それで教会に働きが起きたとしても、福音に勝つことはできません。だから、余計な心配をしないでください。

▶私は欠ける者の代表的な証人です。例えば、私が、もしもです。もしもソウル大学を卒業したとしたら、勉強ができたでしょう。東大の大学院を出たとします。日本語も話せるでしょう。そして、アメリカに行って、ハーバード大学で博士の学位をとったとします。違いますよ。もしもです。「もしも」を設定しての話です。そして、牧会もすばらしい。そうしたら皆さんは私をどう見ますか。やはり東大の人は違うのだなと思うでしょう。やっぱりハーバードは違うのだね。やはりソウル大は違うなと言うと思います。でも、私はなににもできない者なのです。だから、御働きが起きると、ああやっぱり神は生きておられるということになるのです。その証人です。だから、皆さんが欠けていても大丈夫です。ちょっと無知であっても大丈夫です。なぜなら皆さんが賢いということを神は必要とされません。神の力が皆さんに必要であって、皆さんの力が必要なわけではありません。うちの教会の牧師先生はこうで、うちの長老はこうで、ということをよく聞きました。皆さんの教会には、その牧師先生の力は全く必要ありません。神様のみことばを伝えてくれる牧師先生が必要です。それでおしまいですが、すると、皆さんが契約を握れば、神様は牧師先生を通して祝福されるようになっていきます。もしもダビデのような方がこちらにいらっしゃるとするならば、神様はその方の教会の牧師先生にサムエルのような祝福を注いでくださると思います。

▶だから、結局、だれの責任なのでしょう。例えば、あるレストランに行って、お客さんがいつもうどんだけを注文するとしたら、ここのシェフはいつもうどんしか作れません。そうだと思いますか。でも、お客さんがすばらしい料理を注文するとしたら、すばらしい料理ができるようになると思います。

▶皆さんお一人がそのように大切な方なのです。その契約を握ってください。皆さんがどこにいるかに応じて、神様は祝福をすべてそちらに集中させます。その祝福を受けてください。私がこうしたらこうという答えが、ああしたらああいう答えがきたというのはとても小さな些細なことです。あれこれ求めてこう答えられましたということは、すべて小さなことです。神は、ヨセフがどこにいるのかを見ました。なぜなら、彼が契約を持っていたからです。神は、モーセがどこにいるのかを見ました。そして、ヨシュ

アがどちらに向かうのかを見ました。神はその力と御働きをそちらに集中させたのです。

▶ですから、家のこと、親のこと、妻のこと、夫のこと、すべてを捨ててください。なにも関係ありません。多くの独身の女性は、結婚をよくしなければ、良い旦那さんに出会わなければならないと話します。違います。あなたが答えられれば、おかしい夫に出会っても何の関係もありません。良い夫に会ったとしても、答えられない自分であるならばなにもいらなくなるということです。ある方は言いました。私は妻によく出会って幸せですと。歴史と聖書を見ますと、最悪な妻で大者になったケースが多いです。錯覚というものを捨ててこそ答えられると思います。レムナントが答えられると、隣でおかしい人がどんなに何かを言っても構いません。日本でははじめの問題がひどいと言いますが、まったく関係ありません。答えられるならば、答えの連続であるならば、なにも関係ありません。よく契約を見ていただきたいと思います。

### 3) Iサムエル 7 : 1-15

▶ミツパ運動です。これは一人の人の運動です。幼いレムナントサムエルが成長して行った運動です。多くの数字、力を合わせて作ったものではありません。

### 4) Iサムエル 17 : 1-47

▶では、次に行きたいと思います。Iサムエル 17 章です。ダビデが一人で行ってゴリアテを倒しました。皆さんが一人でもサタンを完全に土下座させてしまえば終わりです。ちょっとした問題に、震えたりおののいたりする必要は全くありません。あの子は親がいないのにどうしよう。そうではありません。神が守ります。そういう心配はいりません。だから、今日、契約を正しく握っていただきたいと思います。そこで病んでいる日本を生かさなければなりません。病んでいる日本の方々を生かさすべきです。そして、日本が世界福音化することができる国になるように、私たちが献身しましょう。どれほど簡単でしょう。契約さえあればいいということです。こんなにもシンプルなことです。まことに契約だけをつかんで、契約の旅程を進むのです。うまくいかない人の原因というのは、本人も知らないうちにいらぬことをしているからです。

### 5) I列王 6 : 8-24

▶すべては、一人がやりました。何でしょうか。ドタンの町運動です。皆さんご存知のように、エリシャ一人でやりました。皆さんお一人がまことの契約を握れば、神様のすべての力が皆さんの中心に動いていくということです。戦う必要がありません。なぜなら。戦わずに勝利するからです。本当に力があるならば戦わずに勝利します。神様から与えられた契約を本当に握っていただきたいと思います。

### 6) イザヤ 7:14、イザヤ 62 : 6-12

▶一人です。イザヤです。後にはなにを預言したでしょうか。見張り人を預言しました。イザヤはこの話をして死にました。神を信じる者が、どうしてあのような悲惨な形で死んだのでしょうか。神の契約はたとえ死んでも成就されるからです。イザヤは死んでも、そのみことばは、いまでも成就されています。ステパノは、メッセージを一度語って、そして死にました。しかし、その後、アンテオケ教会が誕生し、いまでもその御働きが起きています。

### 7) 使徒 1 : 1、3、8

▶そして、次は何でしょうか。今日言った本文です。ここに集まった 120 人の信徒が世界を変えました。どうしてでしょうか。こちらにはいくつかの特徴があります。だれがやったとしても日本にこの 1、3、8 の運動が起きなければなりません。だから、皆さんがそのだれかになってほしいわけです。救われたわけですから。だれがやったとしても日本の福音化は必ず成されなければなりません。そこに私が召されたということは、すごいことなのです。私は伝道者として、他はいらぬほど幸せだと思います。この 1、3、8 ほど良いものはありません。キリスト、神の国、ただ聖霊です。

▶まったく知らない赤の他人なのですが、自分は大変だということでキム・ヨンギ秘書を通してお金を貸してくださいと言われました。私は知らないけれど貸してあげなさいと言いました。額もかなり大きいのですが貸してあげました。でも、返してくれません。キム・ヨンギ秘書が「返してくれないが返済してもらわないといけないのではないですか」と言いました。「もらわなくてもいいよ」と言いました。「返してもらわないで本当にいいのですか」「本当にいいよ」と言いました。返してもくれないのに「返してくれ」と言ってももらえないわけです。私にとってはそのお金は重要ではありません。私には、1、3、8 が重要です。私が行く所々でキリスト、神の国、ただ聖霊です。どうしてなのでしょう。こちらにいらっしゃるすべての方には、個人の終末があります。その前に私が立つということです。そして、時代時代ごとにどんなに強大国だとしても崩れます。時代の終わりがあるのです。それを止めるために、私たちはその前に立つのです。日本には本当に霊的な祝福が必要です。日本には本当に霊的ないやしが必要です。そして、日本は重要な国です。韓国の人から文字メールをいただきました。「牧師

先生は、いつも日本を褒めていて韓国のことをけなしているのではないですか」と言われました。私は「事実ではないですか」と言いました。いまだに私は韓国の食堂に行くときすごく気をつけます。もしかして厨房でなにか変なものでも入れたのではないかと疑って…。でも日本ではまったくそういうことを気にしません。自分の口にしょっぱいとか甘いというのはありますが。刺身は味付けをしないのでたくさんいただいています。何年か前に韓国の宣教師 3 人が日本の食堂で食事をしたらお腹を下しました。3 人全員です。3 人とも日本の食堂でそんなことがあったのかと驚きました。知ってみると日本にある韓国の食堂でした。そうだと思います。それぐらい日本は先進国だということです。そうだと思いますか。だからこそ、日本が福音化されなければなりません。

▶神様がなぜ病気にしたのか。それも証人のためです。どうして神様はうつ病を与えたのでしょうか。本当の証人になるためです。そうでしょう。まことに本当の答えを得るためです。だから、すべて与えられました。私の親はどうしてこうなのだろう。それは家庭を生かすための家庭福音化する証人になりなさいということです。私はなぜこんな病気があるのでしょうか。いやしの証人になりなさいということです。神様はなぜ私を貧しい時代に生まれさせたのか。それは、貧しい人々を生かすためです。私の父は、私が中学 1 年生の時に亡くなりました。私は子供の頃から健康への関心が多かったです。なぜなら、健康というものを与え、人を生かす証人になりなさいということです。なにも問題になることはありません。これを今夜は握っていただきたいと思います。

▶明日は、神様がくださった最高のプレゼント、私と日本をサミットにする機会について話します。午後には、私と日本が行くべき契約の旅程について話したいと思います。それを契約として握るなら答えられます。私はこんなに問題だらけでと思っていますか。大丈夫です。その問題を悟ってこそ、本当の答えが見えてくるからです。日本に新しい契約、新しい始まり、そして、新しい祝福が臨まれることを主の御名でお祈りします。お隣の人に話してください。「あなたは本当に神の祝福を受けた方です」。

(祈り)

神様、感謝します。私たちにいやしの使命を与えてくださり感謝します。日本をいやしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。